

戦後日本と国際社会 A

🕒 7分

1. 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

① この組織の最高司令官の名を答えなさい。

マッカーサー [1]

② GHQの占領政策の方針は、()主義を排除し、日本に民主主義を根付かせることであった。()にあてはまる最も適当な語句を漢字2字で答えなさい。

軍国 [2]

年代	で き ご と
1945	あ GHQの指令による、民主化政策が始まる。 う 選挙法が改正される。
1946	え 日本国憲法が公布される。
1951	お サンフランシスコ平和条約が結ばれる。
1956	か 日本が国際連合に加盟する。

(2) 下線いについて、次の問いに答えなさい。

① 戦後の民主化政策について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 農地改革の結果、自作農が増加し、農村の民主化が進んだ。
 イ 民主主義教育の基本理念を示すために、教育勅語が制定された。
 ウ 言論・出版・結社の自由が保障され、政治活動が認められるようになった。
 エ 財閥が解体され、経済の民主化が進んだ。

イ [3]

② 天皇は神の子孫であることを昭和天皇が否定したことを、天皇の何宣言というか。

人間宣言 [4]

(3) 下線うによって、どのような人に選挙権が認められるようになったか。簡単に答えなさい。

満 20 歳以上の男女。 [5]

(4) 下線えについて、次の問いに答えなさい。

- ① 日本国憲法が施行された日は、憲法記念日という国民の祝日に定められている。これは何月何日か、答えなさい。

5 月 3 日 [6]

- ② 次の条文は、日本国憲法の三大原則の1つを定めている。この条文は第何条か、答えなさい。

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

第 9 条 [7]

(5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

- ① この条約について述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア この条約は、第二次世界大戦で連合国側に立ったすべての国と日本との間で結ばれた。

イ 日本は、この条約を結んだすべての国に対して多額の賠償金を支払うこととなった。

ウ 日本は、首相であった吉田茂が代表として、この条約に調印した。

エ この条約によって、沖縄が日本に返還された。

ウ [8]

- ② この条約と同時に、日本はアメリカとの間で、アメリカ軍の駐留などを認める条約を結んだ。この条約の名を答えなさい。

日米安全保障条約(安保条約) [9]

(6) 下線かについて、このことに最も関係の深いできごとを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 中華人民共和国が成立した。 イ ソ連との国交が回復した。

ウ ベトナム戦争がおこった。 エ 朝鮮戦争がおこった。

イ [10]